

パラアスリートから学ぶ～可能性を信じて～

【益田市立美都中学校】

ねらい

パラリンピアンの方の生き方や考え方に触れ、これからの自分自身の生き方を考えるきっかけとする。

いつ

令和2年11月2日(月)

どこで

益田市立美都中学校 体育館

だれが

全校生徒(27名) 校区内小学生(7名)
教職員(小・中 計16名)

小池 岳太 氏

[JTBコミュニケーションデザイン 所属]

なにを

- 講演「自分の可能性を信じて」
- パラの世界(体験活動)

概要

- ・パラリンピック競技についての話を聴いたり体験したりし、パラリンピックの理念や価値を学ぶ。
- ・講演内容や体験活動を通して、相手に対する配慮や日常生活におけるユニバーサルデザインに気付き、共生社会促進に向けた意識の高揚を図る。
- ・今回の学習を今後の学習につなげ、東京大会への気運醸成を図る。



今あるものを最大限に生かす!



トレーニングに挑戦!

ここから応援しています!

講師は、トリノ・パラリンピックからパラリンピックに4大会連続で日本代表として出場。可能性を信じ、挫折を乗り越えてこられた体験を力強い言葉で語られました。その後は、片手で靴紐を結んだり、スキー板を担いだりする体験を通して、一人一人が共生社会に向けて何が必要なのかを考える時間を持ってました。また、「誰でも無限の可能性を秘めている。何事も簡単に諦めないでほしい」という講師のメッセージから、勇気をもって挑戦し続けることの大切さを学び、自分自身を見つめるきっかけにもなりました。